

市町村等	令和 6 年度の活動実績			構成員へメッセージ等
	活動の内容及び実施時期	活動への参加者	成果等	
岡谷市	【水質保全】 【生活排水対策の推進】 ①水環境に配慮した生活行動の推進 ・「下水道の日」にあわせ「広報おかや 9 月号」へ掲載する。 ・下水道の仕組み、役割等について「岡谷市職員出前講座」を実施し、下水道への理解を深めてもらう。 ②下水道供用区域内における下水道への接続促進 ・未接続家屋への接続依頼、各戸訪問及びチラシ配布を行う。 ・排水設備融資斡旋 【廃棄物処理による処理】 ③〔不法投棄等による水質汚濁の防止〕（随時） ・不法投棄の多発箇所に啓発看板を設置 ・市報に不法投棄防止の啓発記事を掲載 【湖沼の対策】 ④ 〔手作業によるヒシ除去作業、除去したヒシの堆肥化〕（令和 6 年 7 月 13 日） ・諏訪湖漁業協同組合、環境市民会議おかやとの共催により開催。 諏訪湖の水質汚濁防止と諏訪湖に対する浄化の意識の高揚を目的に、市民・事業者・市が相互に連携を図り、ヒシの除去を行う。 ⑤〔諏訪湖岸に打ち上げられたごみの除去〕 ・諏訪湖及び河川一斉清掃（令和 6 年 5 月 26 日） ・諏訪湖周一斉清掃（令和 6 年 10 月 20 日） 【工場・事業場排水対策】 ⑥ 排水規制・汚濁負荷量規制 ・グリーストラップ使用状況・特定事業場の立入検査 【市街地対策】 ⑦ 〔不法投棄やごみのポイ捨て防止のための啓発〕（随時） ・③と同様 【流出水対策】 ⑧〔市街地対策〕 ・道路面の清掃 ・道路側溝・水路等の清掃 ⑨ 〔農地対策〕 ・環境保全型農業の継続＜通年＞ ・有機 JAS の継続＜通年＞ 【公共用水域の水質監視】 ⑩ 〔水質検査〕 ・地下水調査（10 月下旬～11 月上旬） ・諏訪湖及び天竜川流入河川水質調査（2 月中旬） ⑪ 〔水質検査〕 ・地下水調査（10 月下旬～11 月上旬） ・諏訪湖及び天竜川流入河川水質調査（2 月中旬） ⑫ 〔油類流出等発生時の調査及び被害拡大防止のための指導〕（随時） ・流出事故発生時に流出元を調査し、被害拡大と今後の事故防止のための指導を行う。 ・市報やパネル等で流出事故防止の記事を掲載し、市民の意識の高揚を図る。	①水道課職員 ②水道課職員 ③環境課職員 ④市民 ⑤市民 ⑥水道課職員 ⑦環境課職員 ⑧環境課職員 ⑨職員 ⑩市民 栃久保耕作組合 2 名（うち 1 名は H29 年度から有機 JAS 継続） ⑪環境課職員、委託業者 ⑫環境課職員	①接続促進のための家庭訪問、諏訪湖浄化に関する下水道の正しい使用方法などを PR することより、諏訪湖の環境改善に資する取組を行った。 ② ①と同様 ③ 不法投棄の防止のため、看板の設置、市報に啓発記事掲載による、市民の意識の向上を図った。 頻発箇所では警察と連携の上、対応を行った。 ④ここ数年岡谷地籍ではヒシの量が増加傾向にあるため、今年度もヒシの除去を継続し、諏訪湖の水質汚濁の防止、市民の諏訪湖浄化に対する意識の高揚を図った。 参加者数：76 名 除去量：3 t ⑤一斉清掃は毎回多くの市民に参加していただき、活動として定着し、ごみは減少傾向にある。 5/26 参加者数 2,000 人 回収量 947 k g 10/20 参加者数 700 人 回収量 264 k g ⑥立入検査により下水排出が制限されている物質等の水質検査を実施し、処理状況の確認を行った。 ⑦ ①と同様 ⑧ ③と同様。 ⑨道路路面の清掃：0m 道路側溝、水路等の清掃：市発注が 200m、各行政区が 6,500m ⑩環境保全型農業の取組を継続し、対象面積の確保を図る（R6 年度 192a）。 有機 JAS への取組を継続し、環境にやさしい農業の意識付けを図る。 ⑪地下水調査:令和 6 年度に岡谷市が行った調査では、新たに基準を超過した箇所はなかった。 河川調査：4 河川を調査。基準を超過する箇所はなかった。 ⑫通報があった場合は消防などと連携し被害拡大防止に努めた。 令和 6 年度漏油発生件数：5 件	

市町村等	令和 6 年度の活動実績			構成員へメッセージ等
	活動の内容及び実施時期	活動への参加者	成果等	
岡谷市	【生態系保全】 【多様な生育・生息基盤の創出】 ①〔間伐を中心とした森林整備〕 間伐、作業道整備 時期：4 月～3 月 【水生動植物の管理】 ②〔アレチウリ駆除（湖周、流入河川）〕 ・ヒシ除去と同時にアレチウリを駆除 ・NPO 法人天竜川ゆめ会議主催のアレチウリ駆除に協力 ・アレチウリ駆除活動を行う団体へ補助。	①岡谷市、山栄建設、飯森林業、中央緑化 ②市民	①間伐の実施により、下層植生が生え、表土の流出が抑えられる。このことから、森林の土壌が健全に保たれ、雨水の浸透量や保水量も多くなるため、水源かん養機能が維持、増進される。 岡谷市（間伐：9.1ha、作業道：770.2m） ②アレチウリの駆除には継続した活動が必要なので、今年度も協力いただける団体に、物品支給による補助を行う。	
	【調査研究・学びの推進】 学びの推進 ◇諏訪湖に関する学習活動の推進 ・環境セミナー ・岡谷こどもエコクラブ ・岡谷市職員出前講座 ・環境教育コーディネート事業	市民 岡谷こどもエコクラブ参加者 市内に在住・在勤・在学の方で構成されるグループ 湊小学校 PTA（児童・保護者） 企業・団体・個人	・今年度は地球温暖化と諏訪湖に関するテーマで講演会を実施 10/19 環境セミナー「御渡りと地球温暖化について」 講師：八劔神社宮司 宮坂 清氏 参加者：150 名 7/13 十四瀬川河口にて諏訪湖のヒシ除去体験、水生生物の観察を実施 参加者 25 人 除去量 1 t 希望に応じ市職員が講師となって講座を行う。 ・実施回数 2 回 ・希望に応じ市職員が講師となり、「諏訪湖を学ぼう」という講座を開催。 参加者 120 名 ・事業所・団体・個人が有する環境教育に活用できる事業等を把握し、市がコーディネートすることによって、環境教育の促進を図る。 ・登録団体 14 団体、授業実施 8 回	

市町村等	令和 6 年度の活動実績			構成員へメッセージ等
	活動の内容及び実施時期	活動への参加者	成果等	
諏訪市	手作業によるヒシ除去作業（7/6）	市職員、信濃毎日新聞社、諏訪市セーリング協会、一般ボランティア ほか	諏訪湖内、流入河川 ※「トヨタソーシャルフェス」として実施 参加者 90 人、回収量 850kg	
	除去したヒシの堆肥化（7/6～）	諏訪湖浄化推進「和限」	上記で除去したヒシの堆肥化実施	
	一斉清掃（春 5/26、秋 10/20）	市内中学生、市民、各種ボランティア、諏訪市衛生自治連合会、市職員 ほか	諏訪湖畔、市内各地区で実施。 ※各地区での清掃は各地区の判断としている。 春 参加者 440 人（ボランティア団体…21 団体）、 回収量 1,772 kg 秋 参加者 443 人（ボランティア団体…18 団体）、 回収量 1,487 kg	
	諏訪湖浮遊ごみ除去（9/7）	市職員、諏訪市セーリング協会、諏訪湖カヤック	ヨットハーバー周辺 ほか ボート、カヤックを使い、アクティビティ要素を付加した作業を実施した。 参加者 58 人、回収量 91kg	
	諏訪湖のごみ調査（11/9）	市職員、上諏訪中学校 3 学年、ながの海ごみゼロプロジェクト実行委員会 ほか	上諏訪中学校 3 学年の「総合の学習」において実施。	
	不法投棄パトロール及び回収（通年）	業者、市職員	市内流入河川、諏訪湖畔 ほか 年 75 回	
	不法投棄防止啓発（通年）	市民	啓発用のぼり旗、看板の配布 ほか	
	油類流出等発生時の調査及び被害拡大防止のための指導（通年）	市・県職員、消防、警察	油類流出対応 R7.1 月末現在 12 件	
	上川アレチウリ駆除（6/15）	市・県職員、諏訪市衛生自治連合会、一般ボランティア	上川車橋付近土手 参加者 6 人 駆除量 10kg	
	湖畔オオハンゴンソウ駆除（7/31）	市・県職員	クリーンレイク諏訪前周辺 参加者 10 人 駆除量 290kg	
	環境紙芝居の実施（5 月～）	市内全 13 保育園の園児、保育士、市職員	諏訪湖浄化等の環境をテーマとした紙芝居を実施 13 園実施、参加園児 541 人	
	小中学校図書館での環境図書コーナー設置（6 月～）	小中学校児童・生徒、司書	環境月間の取組として実施 小学校 6 校、中学校 4 校	
	「すわ未来創造「子どもゆめプロジェクト」におけるフィールドワーク（7/13）	小中学校児童・生徒ほか	諏訪市教育委員会事業として、ヒシの除去イベントに参加、水草等 諏訪湖の学習 参加者 20 人	
	環境パネル展示（3 箇所以上）	市庁舎来庁者、すわっチャオ来場者 ほか	市庁舎ロビー（4 月・6 月・1 月・2 月）、すわっチャオ（適宜）、諏訪信用金庫（市内各店舗）	
	諏訪湖かわまちづくり上諏訪地区協議会	市民、観光業・漁業・飲食業等関係者	・「諏訪湖かわまちづくり」計画に基づき、5/14 諏訪湖かわまちづくり上諏訪地区協議会を開催 ・民間事業者が諏訪湖河川区域内で営業活動が可能なエリア指定を受け、事業の実施。（7/7 「全国水辺で乾杯 IN 諏訪湖 2024」）	
	諏訪湖漂着物（ごみ等）除去（通年）	市	諏訪湖 A ゾーン（ヨットハーバー～下諏訪・諏訪境）	

市町村等	令和6年度の活動実績			構成員へメッセージ等
	活動の内容及び実施時期	活動への参加者	成果等	
茅野市	河川水質調査 ・茅野市内河川 11 地点 10 項目 年 1 回 ゴルフ場農薬の水質調査 ・茅野市内 5 ゴルフ場、年 2 回実施	検査は業者に委託	検査結果の詳細は茅野市ホームページに掲載	
	外来植物除去 ・オオハンゴンソウの除去作業実施（通年） ・駆除方法などを市ホームページ及び広報ちので周知	市民団体、ボランティア、市職員	縄文考古館、市民の森で年 3 回実施。	
下諏訪町	以下＜＊＞は下諏訪町湖浄連、＜※＞は長野県ローイング協会の活動を支援：団体事務局 1 湖岸清掃：4 月～3 月（11 回）＜＊＞ 毎月、下諏訪町内の指定した区域で、諏訪湖岸のごみ拾いを行う。 町による町内一斉清掃活動を 5 月・10 月に実施。 2 水辺のごみ調査：4 月～11 月（5 回）＜＊＞ 湖岸清掃に合わせて、拾ったごみの種類と量を記録する。 3 アレチウリの除去作業：4 月～9 月（5 回）＜＊＞ 湖岸清掃に合わせて、侵略的外来種であるアレチウリの除去を行う。 4 諏訪湖浄化講演会の開催：2 月 24 日＜＊＞ 諏訪湖浄化講演会「ヒシってホントに悪いヤツ？」を実施予定。 5 小学生に対する環境学習：7 月 3 日・8 月 11 日（クリーン祭での清掃）＜＊＞ 町内の小学生に対し、身近な環境について学んでもらう環境学習を実施。 6 諏訪湖クリーン祭の開催：8 月 11 日（日）＜＊＞ 各団体によるブース展示、湖上観察会や親と子のボート教室などを通して、参加者が諏訪湖に親しむイベントを開催。 7 下水道への理解と生活排水対策の推進 ・新デザインマンホールカードの配布（4/26～） ・下水道への接続促進に伴う啓発広告の掲載（9 月） ・特定事業場及びその他事業場への立入水質検査 8 諏訪湖岸の芝等の管理 4 月～12 月（年 4 回実施） 9 教室名：みずべフィットネス 湖畔の健康スポーツゾーンに整備された屋外健康器具 15 基を使った健康講座 ・第 1 期（5 月～6 月）全 6 回 ・第 2 期（10 月～11 月）全 6 回 10 ウォーキング関連教室の開催 ・ノルディックウォーキング、フットライトウォーク、フォロー講座 他（通年開催） 11 砥川ニセアカシア除伐・土手草刈り作業及びごみ拾い（6 月 16 日、10 月 6 日）	1・2・3・4 下諏訪町民、湖浄連会員等 5 下諏訪町内小学生 6 下諏訪町民、湖浄連会員、各種団体等 7 町 8 町、シルバー人材センター、委託業者 9・10 下諏訪町民 11 砥川を愛する会会員、地元住民、協力事業者・団体、行政職員（町、県）	1 諏訪湖に漂着したごみを拾うことで、環境美化及び景観の保持につながった。 【活動実績】可燃物532kg 不燃物181kg 計713kg 2 諏訪湖のごみの傾向を把握し、今後の浄化活動につなげていくための資料となった。 3 湖岸清掃に合わせてアレチウリの除去を行うことで在来種を守り、生態系の保全につながった。 4 諏訪湖に関する講演会を通して、多くの人にごみ問題について考えてもらう機会となった。 5 ごみが環境へ与える影響を学び、実際のごみ拾い体験やグループでのまとめを通して、ごみ問題についての理解を深めることができた。 6 ブース展示や様々な催しを通して、参加者に楽しみながら諏訪湖とふれあいを持ち、諏訪湖に親しんでもらうことができた。 7 デザインマンホールカードを通じ、下水道の役割、重要性等について理解を深めていただいた。下水道への接続促進を図り諏訪湖の環境改善の推進を図った。 8 諏訪湖岸の芝刈りは協定回数以上実施し、良好な環境の維持を行った。 9 教室日以外でも、自主的に諏訪湖畔でのウォーキングや筋力トレーニング等が実践できるよう運動習慣を定着させ、個人や集団でも安心して取り組むことのできる健康づくりの拠点として、更なる利用を促進する。 10 諏訪湖周の環境を活用した、健康づくりに積極的に取り組む方の運動支援の場であり、仲間づくりの場としても位置付ける。 11 各種団体・地域住民や協力事業者及び行政職員による協働作業により、諏訪湖へ流入する砥川沿いのニセアカシア除伐、土手草刈り作業及びごみ拾いを行い、環境美化及び景観の保持につながった。 【刈草処理量】6 月 16 日：4,300kg、10 月 6 日：4,530kg	1～6 町では、下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会（湖浄連）の活動を支援しており、今後も湖浄連をはじめとする各種団体と連携して、諏訪湖浄化に取り組みます。 9・10 諏訪湖周エリアへの施設・設備の整備により、健康づくりのための環境が整ったため、今後はこういった環境を活かしたソフト事業にも力を入れていきたいと考えています。 11 諏訪湖へ流入する砥川をきれいに保つことで、諏訪湖美化へつながると考えています。今後も砥川を愛する会をはじめとする各種団体や地元住民と連携して、砥川の美化活動に取り組んでいきます。

市町村等	令和 6 年度の活動実績			構成員へメッセージ等
	活動の内容及び実施時期	活動への参加者	成果等	
下諏訪町	12 下諏訪ローイングパークの活用 諏訪湖活用拠点（水上防災拠点・艇庫）を活用し、災害時への備えと、13 のボートやカヌーをはじめとする水上スポーツイベント事業等を進める	12 町	12・13 ボート大会ではスポーツ振興や青少年育成への寄与が出来た。新入社員実践道場では、複数の漕手が舵手の指示のもと協力して艇を進めるというボートの特性を活かし、湖畔の健康スポーツゾーンを活用したスポーツの体験を通じて新入社員のコミュニケーション能力とチームワークの向上を図るとともに、健康づくりへの意識を高めことができた。	12・13 2028 年に開催される国スポ大会では、下諏訪ローイングパークにおいてローイング競技及びトライアスロン競技が行われ、全国から多くの方が当地を中心とした諏訪湖へ来場されます。AQUA 未来から望む富士山は絶景です。下諏訪ローイングパークをローイング競技のみならず、カヌーなどの水上スポーツの体験など様々なイベントにご活用ください。
	13 各種ボート競技等の開催 (1)4/14 諏訪湖ロングレース (2)5/11～12 信毎諏訪湖レガッタ (3)5/16 新入社員実践道場ボート研修 (4)6/23 スワコエイトピークストライアスロン大会への協力 (5)親と子のボート教室〈下諏訪町漕艇協会主催事業への協力〉 (6)9/22 下諏訪レガッタ 地域の仲間や職場の同僚でつくる諏訪地方を中心に県内外から 89 クル（選手・随行約 500 人）が参加した。	13 ボート競技関係者ほか (1)中学生から 80 歳超の熟年愛好者等 60 クルが参加 (2)中学生から社会人までの県内外から 111 クルー（選手・随行約 500 人）が参加 (3)諏訪地域企業 17 社 36 人が参加 (4)約 820 人の選手ほか多くの観戦者、ボランティアが参加 (5)13 組 34 人の親子が参加 (6)地域の仲間や職場の同僚でつくる諏訪地方を中心に県内外から 89 クルー（選手・随行約 500 人）が参加		
	14 手作業によるヒシ除去(ビジョン推進会議が実施した作業への参加)7 月<※> 15 手作業によるヒシ除去(下諏訪ローイングパーク)7～9 月頃<※>	14 協会役員 1 名 15 協会役員、地元高校ボート部員、ボート愛好者等多数参加 16 協会役員、水草刈り取り業者	14・15・16 水草の除去や必要があれば浮遊物の回収・廃棄を行うことで、腐敗による環境悪化を防ぐとともに、ボートの航行への障害を排除し、湖辺面の活用に繋がられた。	
	16 その他の水草の除去(下諏訪ローイングパーク) 7～9 月頃<※>			
	17 赤砂崎公園において、地域の事業者が運営するキッチンカーの出店	17 出店スタッフ	17 キッチンカー出店の募集を行ったが出店者はいなかった。今後は事業者へのヒアリング等により課題を把握し改善を図りながら、継続的に出店していただける環境を整える。	
	18 不法投棄パトロール及び回収(通年)	18 町	18 諏訪湖畔及び町内流入河川を含む町内全域のパトロールとごみの回収を行い、環境美化及び景観の保持につながった。	
	19 河川水質検査(年 4 回)及び地下水水質検査(年 1 回)	19 町、委託業者	19 町内河川 9 箇所（6 項目）及び地下水 5 箇所（3 項目）の水質検査を実施した。	
	20 油類流出等発生時の調査及び被害拡大防止のための指導(随時)	20 町	20 油類の流出事故が発生し、原因者が判明した場合には、今後の事故防止のために指導を行った。	
	21 町民大学 地域を取り巻く様々な課題や身近にある事柄に対し、「自らのこととして学	21 町民等受講者 植物：39 人 遺跡：66 人	21 ○「植物のさまざまなくらし 2」 諏訪湖の水辺の植物から霧ヶ峰や八ヶ岳の高山・高原の植物まで、紹介を通じてくらしぶりや環境問題	

市町村等	令和 6 年度の活動実績			構成員へメッセージ等
	活動の内容及び実施時期	活動への参加者	成果等	
下諏訪町	び、考え、判断するとともに、改善に向け行動する」ことで、住民主体によるまちづくりに資するため、学習意識の喚起と醸成を図ることを目的として開講する連続講座。 22 グランドデザイン策定事業	22 町、グランドデザイン策定委員会	を学んだ。 日 時：令和 6 年 7 月 14 日（日）13：30-15：00 講 師：杉山清氏（下諏訪町教育委員会） 場 所：下諏訪総合文化センター ○「曾根遺跡はなぜ諏訪湖底にあるのか」 明治から大正時代にかけて、国内の著名な考古学者たちが「なぜ湖中にあるのか？」を論争してきた「曾根遺跡」の謎に、諏訪湖の水位変化など自然環境の面から迫った。 日 時：令和 6 年 11 月 10 日（日）13：30-15：00 講 師：小口徹氏（諏訪湖博物館専門研究委員） 場 所：下諏訪総合文化センター 22 諏訪湖畔地区のグランドデザインを町、事業者、地域住民等で策定し、当該地区の将来像を共有した。	22 賑わいある諏訪湖周を目指し、グランドデザインの実現に向けて検討してまいります。
富士見町	・アレチウリ除去作業（宮川）の実施（7 月） ・河川水質調査 ・町内河川 4 地点（2 河川） 年 2 回 （5 項目：2 地点、8 項目：1 地点、1 項目：1 地点）	・約 20 名 ・地元区民	毎年作業を継続して実施。町内ではアレチウリは増加傾向であるが、宮川については減少傾向となっている。	
原村	・アレチウリ等特定外来植物の除去作業（各区等の計画による） ・河川水質検査 主要河川 5 河川／5 か所（年 2 回） 8 検査項目を実施 河川等 8 地点／8 か所（年 2 回） 8 検査項目を実施	・各区民等	毎年作業を継続して実施。各区等の取り組みに対し、村が収集運搬車両を手配している。 村内水質検査をすることで、現在の水質汚濁状況を調査する。	
諏訪広域連合	・諏訪湖浄化対策連絡協議会（諏訪圏 6 市町村で構成）の事務局運営（通年）	諏訪圏 6 市町村職員ほか	県関係機関との意見交換会の開催	